

二国間労働組合開発プロジェクト (UD)

概要報告の目的：

- 2015年のPSI労働組合開発プロジェクトの活動について、EB-148に報告する

関連：

- ✓ 労働組合開発に関する POA

背景：EB-146で組合開発プロジェクトに関する政策が採択され、本部の担当作業グループが合併整理されてから、PSIではプロジェクト活動の実施全般が改善し、連帯支援組織（SSO）との関係が向上し、戦略的優先課題に関するプロジェクト活動で大きな成果が得られた。

議論：

本部で割り当てる任務を変更し、若年労働者の活動をプロジェクトユニットに組み込んだ。これにより、若年労働者に関する多くのPSI活動が、プロジェクトを通じて実施できるようになり、プロジェクトと若年労働者の活動の調整がうまくいくようになる。PSI若年労働者介入戦略を現在策定している。

残念ながら、フィンランド政府の政策転換により（右翼政府が人権および公民権の支援分野での開発援助を大きく削減した）、2つのプロジェクトの資金が減り、未熟なままに終了した。PSIプロジェクトの予算には、全体として資金の約10%から15%で影響があると考えられる。しかし、KNS（北欧自治体組合連合）とフィンランドの加盟組合から、こうした削減を部分的に緩和する援助の申し出があったので、2016年半ばには、全体的な影響がより明らかになるだろう。

パートナー組織であるユニオン・トゥ・ユニオン（前 Biståndsnämnd）が変化したことで、LO-TCO スウェーデンでは、新たな協力の機会が得られるようになった。PSIはアフリカでの気候変動関連パイロット事業が、2016年に始動することを期待している。

2015年、UDはFESとの協力プログラムを実施した。このプログラムは大きく拡大しており、これにより、税の正義と貿易分野におけるPSIの活動に重要な支援が得られるようになった。支援プログラムは2016年に増大し、2017年末まで続く。

2015年は、イギリスと加盟組合、UNISONとの新たな協力についても合意がなされた。PSIエボラウイルス病労働組合介入戦略に対する現行の支援で、PSIはフルタイムのコーディネーターを1名確保することができるが、これに加え、UNISONもPSIと（1）若年労働者（南アフリカ）、（2）保健サービス、社会サービス部門の組織化（米州）の2つのプロジェクトを開始させた。

UDは2015年12月、すべてのプロジェクトコーディネーターと共に、第2回目となる年次レビュー会議を行った。2016年も、同様の会議をはじめ、さらに別のプロジェクト資金担当オフィサー研修が予定されている。PSI UDは、プロジェクトコーディネーターを対象に、継続的なスキル開発と研修のプログラムを実施する方向に動いている。

予算面：なし

次のステップ：プロジェクトと政策全体の継続的な実施。

EB-148 に対し以下を勧告する。：
1. 本報告に留意する。

はい/いいえ